

デザインのスローメディア『TD』

- UXのタテヨコナナメ vol.10 十六代 小原治五右衛門 -
治五右衛門 News Letter Vol.12



<https://www.td-media.net/interview/ux-tateyokonaname-vol10-xvi-jigoemon-ohara/>

デザインのスローメディア『TD』の連載、「UXのタテヨコナナメ vol.10」に、十六代 小原治五右衛門のインタビュー記事が掲載されました。城端蒔絵450年のあゆみ、城端曳山祭の力と本質、漆を感じて体験を生み出すことについて語っています。

- ・触れることで、過去や未来を想像し、歴史を感じる。
- ・自分がどう感じるかを大切にすることが、他者の感じ方を尊重することにつながる。
- ・作品から自然に伝わっていくものを信じ、鑑賞者に委ねる。

近くにあると気づかない「目に見えない価値」の共有。
これは遠く離れた世界へではなく、地元への思いです。

十六代 小原治五右衛門

Messages from Friends

彼という空間は本当に優しくて、また心地の良い広さを感じる。「人」というより、「自然」と対峙しているようだ。彼は自分自身のことを漆芸家とは言わない。ある時、聞いてみた。すると彼はこう答えた。

「私の職業は、城端」

彼の人物像を表す、最適な表現だと思う。

彼と漆について語る時、いつも彼の世界に引き込まれる感覚がある。城端の地に生きた歴代の小原治五右衛門を、確かに彼の中に感じる。日本人が大切にすべきことや誇るべきこと、ハッとさせられるのだ。

小原治五右衛門は室町時代から続く名跡。城端蒔絵の一子相伝の技法がよくクローズアップされるが、小原家に伝わってきているのは技術ではないと思う。長男の好稀くんは、中学卒業時にこの漢字を選んだ。

「心」

これこそ、まさに小原家に継承されているものだと思うのだ。城端を、家族を愛する心。小原治五右衛門を通して、人々が日本の素晴らしさを自覚することを切に願う。

辻田 知彦



有限会社辻田漆店 6代目

辻田 知彦 / TSUJITA Tomohiko

1979年、福井県越前市生まれ。創業150年以上の漆製造業社、有限会社辻田漆店の6代目。幼少期より工房を遊び場とし、漆が「生き物」であることを知る。日々漆と向き合う中で、古来より良いとされている製法、漆の個性を生かした製法にこだわりを持つ。その一方で多彩な色漆にも挑戦し、濾せるメタリック調の漆「きらら漆」を発表。用途、要望に応じたオーダーメイドの漆を全国の作家、職人に届けている。

<https://tsujita.co.jp/>

- 展覧会情報 -

第71回 日本伝統工芸展
2025年2月19日(水) - 3月9日(日) 広島県立美術館

第42回 日本伝統漆芸展
2025年3月8日(土) - 3月30日(日) 高松市美術館

<https://www.nihonkogeikai.or.jp/>



OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和7年(2025)

【 活動報告 】

2月3日(月) 寒稽古(城端曳山祭)

2月12日(水) 理事会

2月12日(水) 第2回 城端地域学校評議員会

2月26日(水) 第1回 臨時庵連合会(城端曳山祭)

※2月は大雪の影響で、行事の一部が中止・延期となりました。

令和6年度能登半島地震・大雨被害で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>